

■チリ：チリの太陽光発電プロジェクト

2012年7月27日付け専門紙は、チリの太陽光発電プロジェクトの開発状況について報じた。それによると、これまでに300万kW分の太陽光発電プロジェクトのうちの69.3万kW分の案件が政府承認されている。多くの企業がチリでのプロジェクトに関心を示しているのは、アタカマ砂漠では日射量が多く、世界有数の太陽光発電の適地だからである。環境問題に強い関心のある鉱山会社などが太陽光発電所からの電力購入に興味を示していること、卸市場でのスポット価格が一時0.25米ドル/kWhを超えて高値で取引されていることなどが太陽光プロジェクトの開発を後押ししている。同紙は、世界で初めて補助金無しで太陽光発電事業の採算が取れる市場になる可能性を秘めているが、プロジェクトを成功させるには、サプライチェーンやファイナンスに問題を抱えていると指摘している。